

Epochal

VOL.38
2024 SPRING

世界とつながる熊本

TSMC進出で広がる
熊本・台湾の経済交流

台北—熊本 週12便に増便
熊本・台湾ビジネスサポートセンター

整備が進む地方創生への道

発展と進化を遂げる、
アジアへの玄関口
陸・海・空の整備進む

県内工業団地のご案内
活躍する誘致企業
くまもとの立地環境

JUMP! KUMAMOTO

飛躍！ 創造的復興の、その先へ 世界とつながる熊本

九州の中央に位置し、生産や物流、営業の拠点としての利便性の高い熊本は、交通の要衝として国内だけでなく韓国、台湾、中国などアジアを拠点として世界へ向けたビジネス展開を可能とする。世界的半導体メーカーTSMCの子会社であるJASMの第1工場が完成、さらに第2工場の熊本での建設も決定した。国内外の半導体関連企業も相次いで熊本進出を表明しており経済効果は10兆円を超えるとも言われている。県では「半導体産業集積強化推進本部会議」を設置し、課題解決と波及効果の拡大を図るとともに、今後の産業施策の道標となる「くまもと半導体産業推進ビジョン」を策定、新生シリコンアイランド九州の実現を目指す。九州の中心からアジアの拠点へ。世界とつながる熊本の進化は止まらない。



熊本県企業誘致連絡協議会会報【エポカル】

Epochal

VOL.38
2024 SPRING

CONTENTS

- 04 TSMC進出で広がる熊本・台湾の経済交流
県、経済団体など相次いでMOU締結
- 07 台北ー熊本 週12便に増便
熊本・台湾ビジネスサポートデスク
- 08 整備が進む地方創生への道
- 10 発展と進化を遂げる、アジアへの玄関口
陸・海・空の整備進む
- 12 県内工業団地のご案内
- 14 活躍する誘致企業
稼働20年で1.5倍まで生産量を拡大
サントリー(株)九州熊本工場
熊本事業所開設25周年
タチバナ化成(株)熊本事業所
- 16 くまもとの立地環境
万全の支援体制
人材確保支援
ビジネスマッチング、技術・開発研究をサポート
- 19 NEW FACE(新会員紹介)
- 22 令和5年度 事業報告





2023年9月29日(金)～2023年10月1日(日)、熊本県と台湾の親交をさらに深める期間限定の文化交流イベント『KUMAMOTO 台湾祭』『熊本国際交流祭典』がサクラマチクマモト界隈で開催された



写真提供:九州産業交通ホールディングス

TSMC進出で広がる 熊本・台湾の経済交流

県、経済団体など相次いでMOU締結



2023年1月11日から14日には台湾経済界とのビジネス交流拡大目的として、県知事や経済団体を中心としたメンバーが台湾を訪問した。TSMC本社訪問では、JASMの会長でもある廖永豪副總經理や、李俊賢副總經理と面会した

ラ等の整備、教育環境の整備や住居の確保など、県や関係機関が一丸となって取組みを進めていることを説明した。

高雄市では友好交流協定5周年を迎えたことを記念して、同市の陳基邁市長を訪問した。

**県経済5団体と
台湾経済2団体でMOU**

熊本経済同友会など熊本の経済5団体は昨年6月29日、台湾の2つの経済団体と業務協力の覚書(MOU)を結んだ。熊本と台湾の間で今後、半導体をはじめ様々な産業の企業間連携を進める。台湾側はトップ企業100社の大半が加盟する経済団体「三三企業交流会」と「台日商務交流協進会」、熊本側は熊本経済同友会のほか熊本県商工会議所連合会、熊本県商工会連合会、熊本県中小企業団体中央会、熊本県経営者協会が名を連ねた。

また、8月28日には日本台湾商會連合会と熊本県の商工会議所連合会、商工会連合会が、熊本市内のホテルで、ビジネスセミナーと会員懇親会を開催した。

蒲島県知事、陳銘俊駐福岡台湾総領事はじめ、県北地域の市町村長、主催商工団体の役員やメンバーなど107名が集い、熱心に講演を聞き、新しい時代への対応を語り合った。



「台湾区電機電子工業同業公会(TEEMA)」の関係者による表敬訪問にはくまモンも登場。笑顔で写真撮影する関係者ら



台湾の電機電子業界の主要企業約3千社が加入する産業団体「台湾区電機電子工業同業公会(TEEMA、李詩欽理事長)」の関係者らは10月11日、熊本県を表敬訪問し、蒲島都夫知事と面会した



3月24日に熊本ホテルキャッスルで行われた県商工会議所連合会、県商工会連合会、台北市出口商業同業公會(IEAT)の経済交流促進に関する覚書の締結式。

また、TSMCの進出を受けて連合会が台湾側とMOUを結ぶのは初めて。TJCITは2008年に発足し、日本企業との間で産業技術の交流を支援している。連合会幹部らが昨年9月に台湾を訪れてTJCITと基本合意し、今年2月27日に正式に締結した。

**県工連と
台日産業技術合作促進会も**

熊本県で最大の製造業団体「熊本県工業連合会」は、台湾企業などで組織する「台日産業技術合作促進会(TJCIT)」と半導体関連で相互協力協定(MOU)を結んだ。TSMCの熊本進出で日台双方に商機が広がる中、事業拡大を目指す企業同士を引き合わせるなどして経済効果を高めたい考え。

昨年1月11日から14日には台湾経済界とのビジネス交流拡大及び高雄市との友好交流協定締結5周年記念行事の実施などを目的として、県知事や経済団体を中心としたメンバーが台湾を訪問した。チャイナエアライン本社では、謝世謙会長や高屋漢社長と面会し、熊本―台北線の定期便実現に向けて熊本をアピールした。その結果、熊本―台北間のチャーター便が運航されることが決定した。

また、TSMC本社訪問では、JASMの会長でもある廖永豪副總經理や、李俊賢副總經理と面会し、TSMCの熊本進出で、半導体の人材育成、周辺地域の道路インフ

**2023年1月の
交流ミッションを契機に**

TSMCの熊本進出を受けてこの1年で熊本と台湾の交流が急速に広がっている。熊本県では半導体産業集積強化推進本部を設置し受入環境整備を着々と進めてきた。

その間、台湾の経済団体や企業が相次いで熊本を訪れ、経済セミナーや交流会を開催。熊本の地銀は台湾に拠点を新設した。台湾の企業も熊本進出を続々と表明している。

TPE 台北—熊本 KMJ 週12便に増便!



CHINA AIRLINES



STARLUX

台湾の新興航空会社スターラックス航空(星宇航空)は、2023年9月1日に就航した台北(桃園)ー熊本線を冬ダイヤ初日の10月29日から増便し、週7便(1日1往復)のデイリー運航に増便した。機材はエアバスA321neo(2クラス188席・ビジネス8席、エコノミー180席)を使用。現在の運航スケジュールは、熊本行きが午前7時45分に出発して、午前11時に着く。台北行きは正午に熊本を出発し、午後1時40分に到着する。

冬ダイヤから デイリーの週7便に増便 【スターラックス航空】

台湾航空大手で、フラッグシップキャリアであるチャイナエアライン(中華航空)は、2024年3月31日から始まる夏ダイヤで熊本ー台北線を週5便に増便する。2月27日から冬ダイヤが終了する3月26日までの間、毎週火曜に運航する臨時便を、そのまま定期便にする。機材は180人のエアバスA321neo型を使用。現在の運航スケジュールは、熊本行きが午後2時30分に出発して午後5時40分に着く。台北行きは午後6時40分に出発して午後8時15分に着く。

3月31日から 定期便が週5便に増便 【チャイナエアライン】



東京スター銀行熊本オフィス開設を記念したビジネス交流セミナー



台日新創企業合作活動 日台スタートアップ連携イベント
Venture Plaza in Taiwan Plus
台北で開催されたスタートアップ企業のマッチングセミナー 写真提供: 熊本銀行

肥後銀行が台湾オフィス開設
6月28日には肥後銀行が台湾の台北市に拠点を新設した。同行では、TSMCの熊本進出にともない、県内進出を目指す関連企業を支援するため、経済交流を活性化させたいとしている。
一方、台湾の大手金融グループである中国信託フィナンシャルホールディング傘下の東京スター銀行は12月18日、熊本市西区春日3丁目に熊本オフィスを開設した。TSMCの熊本進出を機に中国信託FHグループのネットワークを活用して台湾

企業や半導体業界向けのサービスを強化する。
さらにF.F.G.熊本銀行と連帯し12月6日、九州のスタートアップ企業と台湾の投資家をマッチングさせる合同イベントを台北市で開催した。
半導体受託生産の世界最大手、TSMCの子会社J.A.S.M.の第1工場が完成、さらに第2工場の熊本での建設も決定した。巨大工場の稼働で生まれる関連ビジネスを巡り、熊本と台湾の経済界が急接近している。

INFORMATION



外国人の熊本での暮らしをサポート! 熊本県外国人サポートセンター (台湾相談ホットライン)

熊本県では、外国人の方が安心して暮らせるよう、多言語による生活相談を行う「熊本県外国人サポートセンター」を設置しています。

相談内容
在留手続、雇用、医療、福祉、出産、子育て、子どもの教育など

2023年8月から、「台湾相談ホットライン」を設置 TEL 080-9999-4405 <http://www.kuma-koku.jp/support-center/>



台湾に関する企業支援相談窓口 熊本・台湾ビジネスサポートデスク

- 台湾・台北市
- ①熊本・台湾双方の企業等からの相談対応
 - ②企業訪問等のアテンド
 - ③県関係者及び企業等との連絡調整等

業務委託先 亜細通国際有限公司
(アジコムインターナショナル 熊本県ビジネスアドバイザー上田)
日本語・中国語OK +886-2-2567-7140
メール kumamotobusiness@gmail.com
<https://asicom.com.tw/>

【お問い合わせ先】熊本県観光国際政策課国際交流班 TEL 096-333-2159

渋滞緩和
空港アクセス
向上!

将来の基幹となるネットワーク 「セミコン周辺」のアクセス強化

企業集積に伴い、菊陽町と合志市に位置するセミコンテクノパーク周辺の渋滞緩和や、空港アクセス向上に向けたインフラ整備が進んでいる。大津植木線はJASM新工場に隣接する区間付近の多車線化を図るほか、中九州横断道路「合志IC」(仮

称)からJASM新工場周辺地や国道57号との交通を円滑にするアクセス道路も整備する。整備が進めば空港-工業団地-鉄道-高速道路などさまざまなポイントへの交通利便性が向上し、将来の基幹ネットワークになると期待されている。



R6.2月時点

渋滞解消へ
セミコン通勤バス
年間利用28万人想定



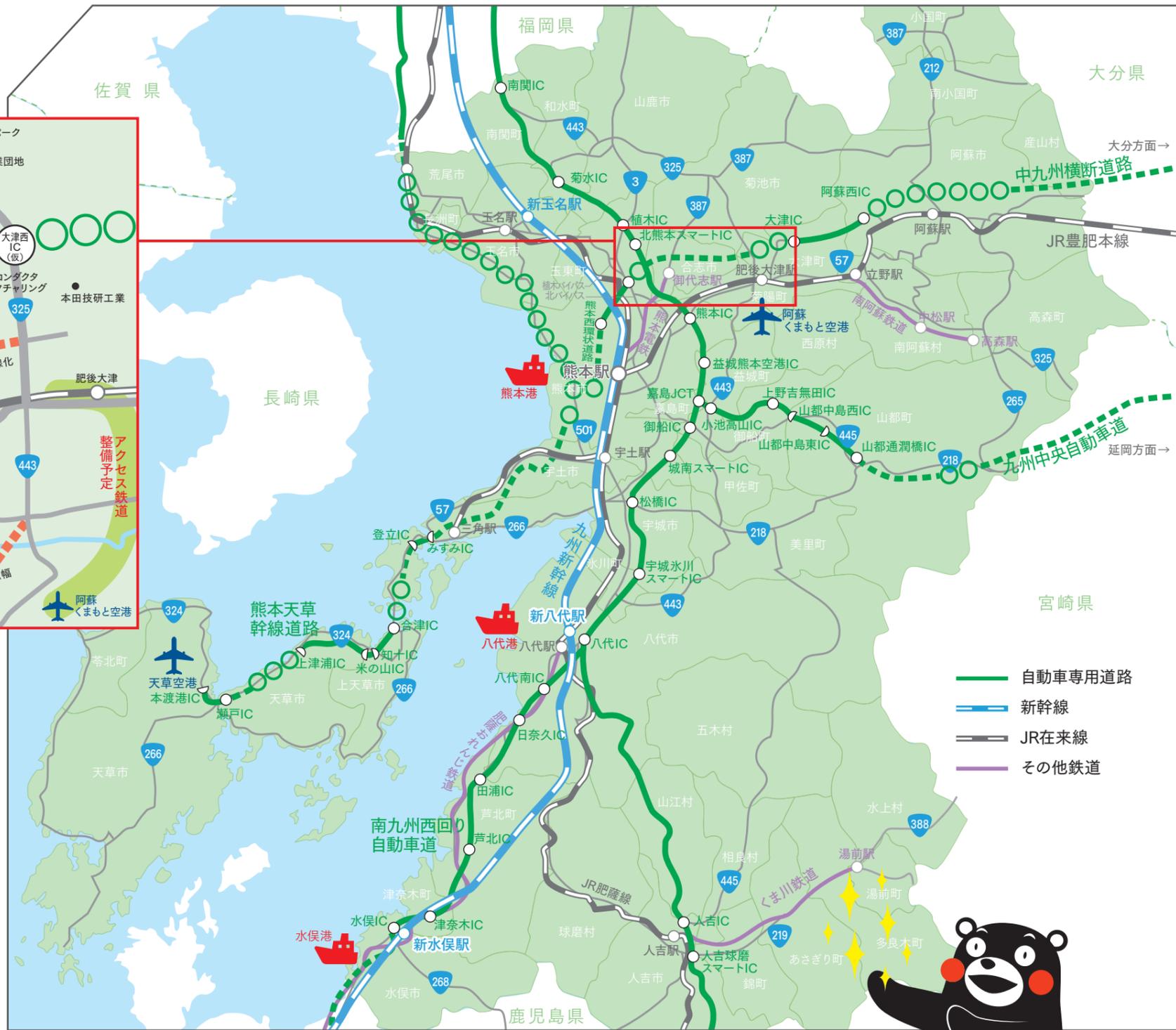
道路整備に加えた渋滞緩和策として公共交通の利用促進が課題となる中、菊陽町のJR原水駅とセミコンテクノパークを結ぶ「セミコン通勤バス」の利用が好調に推移している。町は年間利用を28万人と見込んでいる。県内路線バス5社は都市圏東部方面と同パークを結ぶ無料通勤バスを運行する実証実験も実施。本運行につなげたい考え。

空港と周辺地域を核とした
“地方創生の先進地域”へ
新大空港構想



熊本県ではこれまで、阿蘇くまもと空港と周辺地域の可能性を掘り起こし、最大化を図る「大空港構想」に沿った取り組みを推進してきた。熊本地震後は創造的復興のグランドデザインとして「大空港構想 Next Stage」を策定。今回策定した「新大空港構想」では2033年度までの概ね10年間、品格あふれる美しさと、先端技術産業の知の集積、九州を支える空港機能が調和した『日本一広く美しい空港』を目指していく。

整備が進む地方創生への道



直近の道路
開通状況

- 2022年度開通**
 - 2023.2.5開通 国道3号「熊本北バイパス(4車線化)」(北区四方寄町-合志市須屋 延長1.8km)
 - 2023.2.5開通 国道3号「植木バイパス(2車線)」(北区四方寄町 延長0.9km)
 - 2023.2.25開通 熊本天草幹線道路「本渡道路」(天草市港町-同市志柿町 延長1.3km)
- 2023年度開通**
 - 2024.2.11開通 九州中央自動車道「山都中島西IC~山都通潤橋IC」(山都町 延長10.4km)



新幹線

博多まで最速33分
新大阪まで最速2時間58分

飛行機

羽田—熊本	90分
成田—熊本	100分
静岡—熊本	100分
中部—熊本	75分
小牧—熊本	80分
伊丹—熊本	65分
沖縄—熊本	90分
伊丹—熊本—天草	155分 (トランジット含む)
福岡—天草	40分

韓国・ソウル—熊本	90分
台湾・台北—熊本	135分
香港—熊本	210分

※2024年3月現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により熊本-高雄線は運休中

船

神戸—熊本	2日
神戸—八代	2日
釜山—熊本	1日
釜山—八代	1日
台湾—八代	3日

発展と進化を遂げる、アジアへの玄関口

熊本県は九州の中央に位置し、生産、物流、営業の拠点が数多く進出する交通要衝地。阿蘇くまもと空港の整備による震災からの創造的復興に加え、陸・海・空それぞれの玄関口を整備し、韓国、台湾、中国などの主要都市を中心に、アジアエントランスとしての機能が一層広がっている。



機能充実化が進む 国際物流拠点 熊本港・八代港

韓国や台湾との間に定期船を運航している熊本港・八代港。両国を経由してアジアはもとより北米やヨーロッパなど世界中の貨物の輸出入が可能。

熊本港 Topic

熊本中心エリアの物流を担う熊本港。コンテナ船のほか、2020年から貨物を搭載した車両が直接乗り込める「RORO船」も就航。23年には熊本-神戸間に「国際フィーダー航路」が新規就航した。24年度中に新たなガントリークレーンが稼働予定であり、また耐震強化岸壁も計画されていることから防災の面からも期待が高まっている。

熊本港国際コンテナ定期航路
熊本港⇄釜山港 **月12便**



貿易推進へ熊本-神戸港間の「国際フィーダー航路」に就航したコンテナ船

八代港 Topic

2021年に台湾航路が新規就航し、22年には小口貨物の積合・積卸が可能となる温度調節機能を備えた「CFS倉庫」の供用も開始した。また、同港の南側、加賀島地区では水深12mの岸壁や工業用地が計画され、機能拡充がますます進んでいる。

八代港国際コンテナ定期航路
八代港⇄釜山港、八代港⇄台湾各港(基隆、台中、高雄) **月20便**



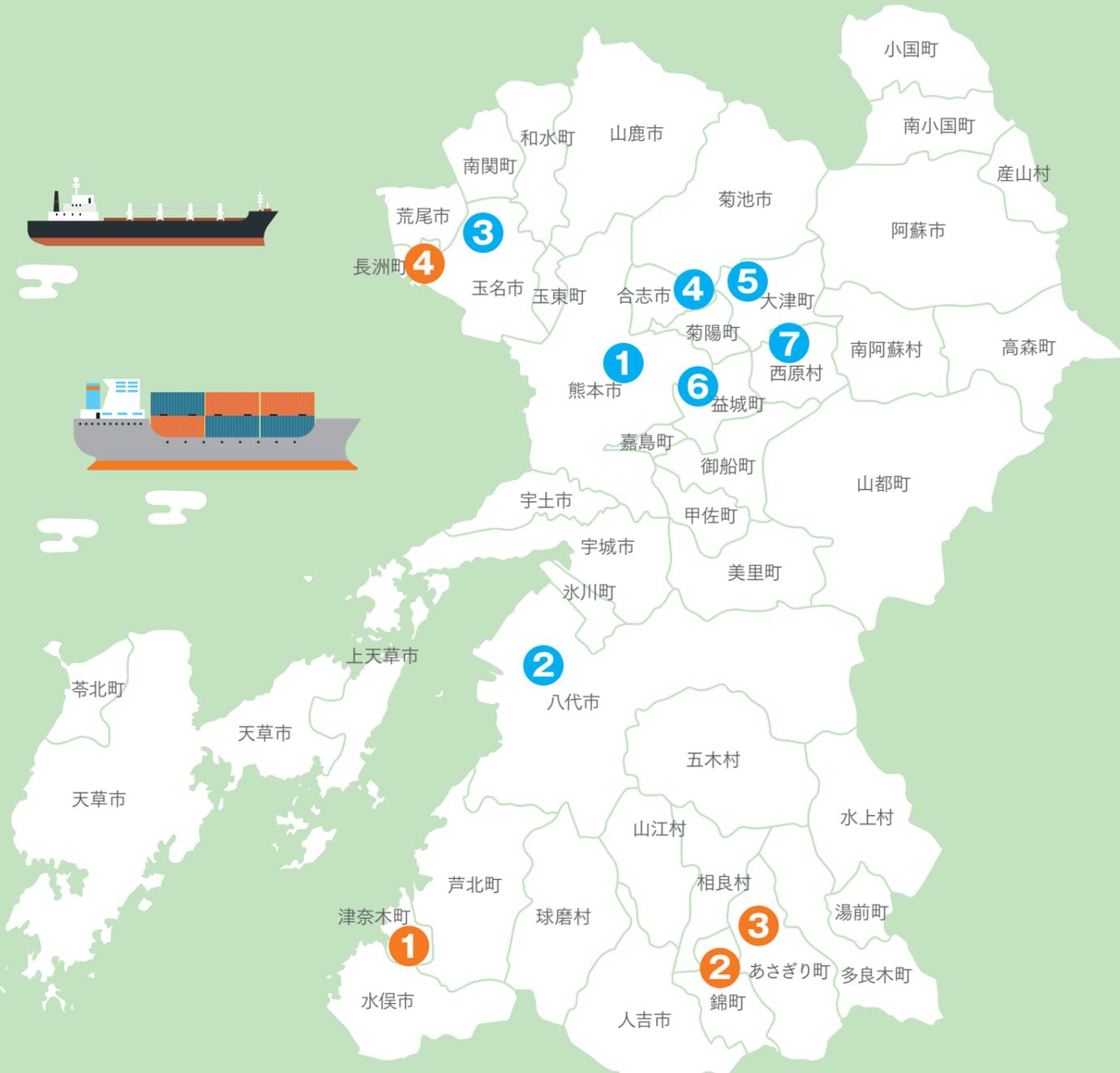
高潮対策のコンテナ流出防止柵 CFS倉庫(小口貨物積替上屋)



現在配備しているガントリークレーンとストラドルキャリア

熊本県内工業団地のご案内

熊本県内では分譲中の工業団地のほか、新規の工業団地の整備が進んでいる。



現在分譲中の工業団地

	市町村名	名称	残区画数	残面積
①	津奈木町	津奈木工業団地	1	4.0 ha
②	錦町	錦町一武工業用地	1	1.5 ha
③	あさぎり町	西の迫工業団地	1	0.8 ha
④	長洲町(県営)	名石浜工業用地	1	5.7 ha

市町村が新規整備に関する工業団地

	市町村名	名称	分譲時期(予定)	計画面積
①	熊本市	戸島町北地区産業用地	R7年度～	約24ha
		戸島町東区産業用地	R8年度～	約8ha
		北熊本SIC西地区産業用地	R8年度～	約16ha
②	八代市	(未定)	R10年度～	約20ha
③	玉名市	玉名三ツ川産業団地	R5年度～	約25ha
④	合志市	東部工業団地(仮)	R7年度～	約11ha
⑤	大津町	(未定)	R9年度～	約10ha
⑥	益城町	益城インター北産業団地(仮)	R7年度～	約10ha
⑦	西原村	鳥子地区新工業団地(仮)	R6年度～	約10ha



▲タチバナ化成株式会社熊本事業所

- 事業所代表者／熊本事業所長 竹下 健一
- 事業所操業年月／1998年11月
- 従業員数／70名(グループ計230名)



▲城南工業団地内に3つの工場を有する



▲社員の働きやすい環境づくりに注力

熊本事業所開設25周年 半導体需要の進化を受け着実に成長

タチバナ化成(株) 熊本事業所

〒861-4222 熊本県熊本市南区城南町鰐瀬1808-8
TEL:0964-28-0223

半導体製造前工程用の 高純度化学品製造

半導体製造前工程向け化学品を受託製造・販売するタチバナ化成(株)は、クリーンで先端の製造プラントを有し、半導体市場を後押しする役割を担い成長を続けている。

化学品専門商社・森下産業(株)の100%出資の物流会社として1976年に設立し、1994年に製造業に転換した同社は、半導体製造の前工程におけるフォトリソグラフィ、露光・現像、剥離、洗浄などで使用する水系・溶剤系の高純度薬液や、機能性化学品の製造・販売を主業務として、ライフサイエンス事業にも進出している。委託元の化学品顧客を通じて、世界でシェアを持つ半導体企業各社を最終顧客とし納入する。製品の純度を徹底し高めるフィルタリング、製品群毎の専用ライン、精密な工程管理、検査・分析装置の充実、無事故無災害記録連続9000日超など、半導

体に適合する高品質で安定的な製造が同社の強みである。

タチバナ化成が受託製造を埼玉県で始めた1995年、需要は順調に増加していた。しかし同年に阪神淡路大震災が発生。増産と危機時の事業継続には、西日本に製造と物流の本格的な拠点を構える必要があると考え、当時シリコンアイランド構想を掲げていた九州に着目。特に半導体産業の実績と理解があり、綺麗な地下水が潤沢にある熊本県は水系薬液製造に最適と判断し、1998年に城南工業団地の立地第一号として事業所を開設。昨年25周年を迎えた。

その間、半導体市場は販売と製造の中心が日本からアジアなど海外へ移り、2011年以降は替円高の影響も加わり、販売は急減した。熊本地震の被災では、さらなる低迷も危ぶまれた。しかし、顧客のグローバルなビジネス展開と、品質とコストで常に最適国での生産を模索する方針を理解し、協調して改善に励

み事業を存続させてきた。先端半導体の微細化に対応できる高品質で競争力もある製品が主軸になり、ここ5年の半導体市場の世界的な伸長も追い風となり、着実な成長軌道を描くことに成功した。

生産量、社員数とも想定を上回る

熊本事業所は第1〜第3工場で構成。第1工場は水系の多品種生産と事務棟を兼ね、第2工場は溶剤系を専門とする工場である。第3工場は水系の先端製品の需要増に対する大ロット製造と省人化、より高度な分析を実現するべく2022年に竣工した。生産量は設立当時の想定600トン/年に対して2022年の実績は4100トンに達し、第3工場の投資で能力は一層増える。社員数も2023年時点で70名を束ね、森下産業グループで最大級の事業所へ変化した。今後は地域と連携した体験学習や採用活動を積極化し、社員が働きやすく成長できる企業風土の醸成にも注力しているという。森下社長は「城南工業団地での開設から四半世紀、お客様と熊本地域の厚い支援を受けて定着できたことに感謝したい。その熊本で半導体産業の集積と成長が期待される今後、基盤のある高純度薬液の製造など当社の事業と人材を拡充していくことで、地域の発展に寄与したい」と意欲を見せる。



森下 陽一郎 社長



▲サントリー九州熊本工場

- 事業所代表者／工場長 迫田 伸一郎
- 事業所操業年月／2003年7月
- 従業員数／約260名(協賛会社含め約350名)



▲九州熊本工場で生産する飲料



▲2024年2月からは「サントリー生ビール」の生産も開始



▲ガイドツアー(工場見学)も人気。ビールを缶に充填する製造ラインは迫力満点

稼働20年で1.5倍まで生産量を拡大 水保全に関する国際認証で最高位取得

サントリー(株) 九州熊本工場

〒861-3104 熊本県上益城郡嘉島町北甘木八幡水478
TEL:096-237-3811

2023年は最大生産量を更新

サントリー(株)九州熊本工場は、九州全域および中国地方の一部へ出荷する飲料の生産を担う工場として、2003年7月に稼働した。7カ月間の操業停止が余儀なくされた熊本地震からの完全復旧を果たし、2023年には稼働20周年を迎えた。

生産設備の増強を経て、生産量は稼働当初の約1.5倍まで増加。消費者ニーズの多様化に対応するべく、季節商品などを含め約90品種・120品目を生産し、2023年は最大生産量を更新した。九州熊本工場ではビール類、缶酎ハイ、清涼飲料水を生産しており、全国にある同社の生産工場の中で唯一この3カテゴリーを生産する「トリプルハイブリッド工場」。

生産品種の内訳は、ビール類では「ザ・プレミアム・モルツ」や「金麦」、ノンアルコール

ビール「オールフリー」などで、2024年2月からは新たに「サントリー生ビール」の生産も開始。缶酎ハイでは「こだわり酒場のレモンサワー」や「同タコハイ」、「ほろよい」など、清涼飲料水では「サントリー天然水 阿蘇」や「缶酎ハイ」BOSS」、緑茶飲料「伊右衛門」など馴染みの商品を生産している。

九州熊本工場で最多の生産数を誇るのは「サントリー天然水 阿蘇」。阿蘇の大地に育まれた天然水と、天然水で醸造するビール類の両方を生産する工場は国内で同工場だけだという。

水保全国際認証「AWS」最高位取得

九州熊本工場は2023年、工場周辺流域の持続可能な水利用に関する国際認証「AI Alliance for Water Stewardship (以下AWS)」において、最高レベルの

「Platinum」を取得した。サントリーグループでは、くまもと地下水財団、益城町、協力農家とともに工場周辺の水田で、湛水農地「冬水田んぼ」と呼ばれる地下水涵養活動を実施している。また、同工場の水源涵養エリアにあたる南阿蘇外輪山には、熊本県や近隣町村などの協力のもと、約420haの「サントリー天然水 森阿蘇」が広がり、森林整備活動を展開。AWSの認証では、20年間続けるこれらの地道な環境活動に加え、周辺地域の行政や地元住民と連携した包括的な取り組みが高く評価された。

上質で豊富な水資源に恵まれた熊本に立地し、「水という自然の恵みも熊本の大らかな魅力だが、行政の強力なサポートや関係団体・地域住民の協力体制など、熊本では人の恵みにも感謝している」と上北剛嗣九州熊本工場事務長。

2023年には最大生産量を更新した九州熊本工場。今後も自動化を進め、従業員の作業負担を軽減しながら、最大生産量を向上させていく方針だ。上北事務長は「高品質のおいしい飲料を生産することで、皆さまに愛される工場を目指し、ファンづくりにも注力している」と語り、熊本、引いては九州を代表するような工場に成長させたいとしている。



迫田 伸一郎 工場長

熊本県の人材確保支援

熊本県では教育機関や各種支援機関と連携し、企業の人材確保や人材定着に向けた取り組みをサポートしている。

誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との 情報交換会

優秀な人材を確保したい誘致企業等と、企業の情報を知りたい学校の就職担当者との情報交換会を開催。個別面談や名刺交換などを行い、ネットワークづくりや活発な情報交換の機会を提供。



大都市圏等からの人材確保 熊本県UIJターン就職支援センター

熊本、東京、大阪、福岡にある相談窓口で、熊本へのUIJターン就職を希望する大都市圏等在住者と県内企業とのマッチングを無料でサポート。また、求職者が採用試験を受けるための交通費及び宿泊費を最大3万円助成。さらに、東京圏からUIJターナーを採用した場合、就職者に対して最大100万円が支給される。



相談窓口ではUIJターン就職支援アドバイザーがマッチングをサポート

熊本の誘致企業発掘サイト



ハタラクト

熊本県内の若者や保護者らを対象に、熊本県の誘致企業を身近に感じてもらい、誘致企業で働く魅力を発信するウェブサイト。学校のキャリア教育とも連携し、誘致企業の認知度向上に貢献している。

76
事業所
掲載中

詳しくはコチラをご覧ください



熊本で働く人がいきいきと輝く! それが「ブライツ企業」

430社
認定!
(R6.1月現在)

熊本県では、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライツ企業」として認定。その優れた取り組みを広く周知することにより、県全体の労働環境や処遇の向上を図るとともに、若者の県内就職を促進する。認定されると、メディア等で認定企業として周知され、「ブライツ企業限定」イベントや学校進路指導教員との情報交換会に参加できる。

認定を受けた事業所は、ブライツ企業シンボルマークを社員用の名刺等に表示することができる。

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている

熊本県は「よかボス宣言」をする 「よかボス企業」を応援

「よかボス」とは、共に働く社員や職員、従業員などの仕事や結婚、子育て、介護など、生活の充実を応援するボス(企業の代表者等)のこと。よかボス企業登録をすると、よかボス企業として、熊本県子ども未来課のFacebookやホームページに掲載されるほか、よかボス企業のシンボルマークを会社パンフレットや名刺などに使用できる。



万全の支援体制

熊本県は幅広い業種に対応した補助金や人材確保の支援制度などが充実。

さまざまな優遇措置で立地・事業拡大を強力にサポート。企業立地に関する情報は「企業立地ガイド熊本」をチェック!

企業立地ガイド熊本 検索



製造業・運輸業向け

熊本県企業立地促進補助金

- 対象:投資額3億円以上かつ雇用5人以上(2~15%)
 - [研究開発業]5千万円以上かつ3人以上(5~10%)
 - [外資系企業]基準なし(5%)
 - [大規模投資企業]200億円以上かつ200人以上の新設企業(8~15%)
 - [物流施設]1億円以上かつ5人以上(3%)
- 補助金額:
 - ①投資額×2~15%
 - ②新規雇用者50万円/人(~49人)・60万円/人(~99人)70万円/人(100人~)
- 限度額:50億円

オフィス系向け

熊本県産業支援サービス業等立地促進補助金

- 対象:雇用5人以上(投資要件なし)
 - ※人口減少市町村以外に立地する場合は別途要件あり
- 限度額:[コールセンター等]5億円
[IT関連企業等]1.5億円
 - ※本社機能移転についても同様の制度あり

スモールスタート 研究開発業

~熊本県企業立地補助金~

- 対象:投資額1,000万円以上かつ雇用3人以上
 - ※新たに熊本県内に研究開発施設等を設置するもの
- 補助金額:
 - ①投資額×10%
 - ②新規雇用者50万円/人
 - ③事業所の年間賃借額×1/2(4年間)
- 限度額:1億円

荷主向け

国際コンテナ利用拡大助成事業

新規利用企業

- 対象:前年度に熊本県内港を利用したことがない荷主企業
 - ※国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けていない
- 助成金額:1TEU当たり2万円

継続利用企業

- 対象:前年度に熊本県内港を利用したことがある荷主企業
 - ※国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けている
- 助成金額:1TEU当たり1万5千円

ノンアセット型物流企業の 賃貸料等を支援!

〈対象企業〉

マルチテナント型物流施設等に入居する企業
※道路貨物運送業、貨物運送取扱業、港湾運送業、梱包業、卸業及び小売業

〈補助内容〉

設備投資(土地・建物は含まず)や雇用に対する支援に加え、事業所の年間賃借額(操業から1年間)の1/2を支援。

NEW FACE

2023年 新会員紹介

本コーナーでは、新会員の皆様をご紹介します。
今回、新たに7社の皆様にご入会いただきました。
心より歓迎申し上げます。
当協議会の活動を通して、会員相互の交流を深めていきましょう。



(掲載は50音順)

NEW FACE ①



「その可能性、カタチにします!!
デザイン～設計～試作から量産まで」

NEWFACE
1

栄光デザイン&クリエーション株式会社 熊本工場

◆所在地/本社・神奈川県横浜市港北区新羽町313-1、熊本事業所・大津町室1631 ◆設立/1973年9月 ◆代表者/代表取締役社長 出雲 秀樹 ◆TEL/096-293-4301 ◆従業員数/88名、うち熊本事業所43名 ◆事業内容/樹脂(プラスチック)の量産・加工・試作品製作・金属を加工する試作板金・量産、金型製作、各種治具製作・デザイン、設計支援、3Dスキャン、リバースエンジニアリング

私達はモビリティ内外
装品開発・設計・生産技術
支援・試作・量産まで、も
のづくりを行いお客様にお
喜び頂いています。
またホンダレーシングの
F1やMOTORGPマシン
にオフィシャルスポンサー
として部品供給し勝利に貢
献しています。福岡研究開
発センターでは九工大と共
に樹脂ベレット材でものづ
くりが出来るような3Dプ
リントー技術熟成を行って
います。最近は大津町に新
たな土地を取得し熊本の可
能性と共にさらなる事業領
域拡大を目指しています。

NEW FACE ②



ロジスティクスに最適解を提供し続ける
包装資材の総合メーカー

NEWFACE
2

大石産業株式会社 緩衝機能事業本部 段ボール事業部 熊本営業所

◆所在地/本社・福岡県北九州市八幡東区桃園2-7-1、熊本事業所・山鹿市津留20 ◆設立/1925年4月 ◆代表者/代表取締役 山口 博章 ◆TEL/0968-44-5181 ◆従業員数/354名、うち熊本事業所7名 ◆事業内容/産業用包装資材の製造販売(パルプモールド、フィルム、重包装袋、段ボール等)

私たちは包装資材の総
合メーカーとして、パル
プモールド、フィルム、重
包装袋、段ボールの4本
の核となる柱を有してお
り、各事業が連携した製
品の開発も行っています。
お客様の大切な製品だ
けなく、その先のお客様
の心まで届くような包装
資材でありたい、物流と
いうシステムの中で流れ
をスムーズにし、ロジス
ティクスにおける最適解
を提供したいという思い
で仕事をしています。ど
んな些細なことでも、お
気軽に相談下さい。

ビジネスマッチング、 技術・開発研究をサポート

熊本県でビジネスマッチングの相談はくまもと産業支援財団、そして技術・開発研究に関する相談は熊本県産業技術センターが、挑戦する企業の新規取引開拓や研究・開発から事業化までを伴走支援している。

ものづくり中小企業の ビジネスマッチングを支援

くまもと産業支援財団 ビジネスマッチング推進室

熊本県内のものづくり中小企業の新規顧客開拓や受注量の確保等をサポート。職員や東京・福岡のビジネスエージェントによる案件の紹介や、商談会の開催を通して、熊本県内受注企業と県内外の大手メーカー等の発注企業との取引あっせんを行っている。

ウェブサイト上では熊本県内登録企業情報を閲覧でき、所在地・加工内容・主要設備などから検索も可能(2024年2月現在 934社掲載)。

(公財)くまもと産業支援財団 ビジネスマッチング推進室

熊本県上益城郡益城町田原 2081-10
TEL 096-289-2437



益城町にあるくまもと産業支援財団



2022年に開いた「くまものづくり商談会」

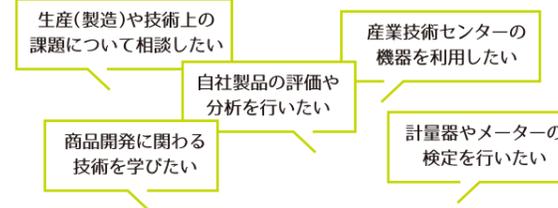


ビジネスマッチング推進室のスタッフ

熊本県内製造業の“技術部”として 「売れるものづくり」をサポート

熊本県産業技術センター

産業技術・農林水産物の加工に関する研究開発や指導、支援、適正な計量の実施の確保を行い、熊本県内産業の振興を図ることを目的に熊本県が設置した技術支援機関。熊本県の産業全体を一つの会社に例え、その会社全体が「売れるものづくり」を行っているための“技術部”として、企業のサポートに取り組んでいる。



熊本県産業技術センター

熊本県熊本市東区東町 3-11-38
TEL 096-368-2101



熊本県産業技術センターの外観



電界放出形走査型電子顕微鏡(開放機器の1つ)。試料に電子線を照射し、放出される電子等を検出することによって、微細構造を観察したり、元素分析を行ったりする装置



技術相談の事例:画像処理技術を活用した箱詰めロボットシステムの開発

NEW FACE ⑥



企業理念「つなげる。みらいへ。」
を熊本のために。 NEWFACE 6

株式会社プロフェッショナル・ネットワークス 熊本branch

◆所在地/本社・東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル28階、熊本branch・熊本県熊本市中央区辛島町5-1 日本生命熊本ビル8階 ◆設立/1990年4月 ◆代表者/代表取締役社長 島倉 農 ◆従業員数/141名(2024年7月より熊本branch勤務予定) ◆事業内容/ソフトウェア開発(クラウドサービス(スマホアプリ・サーバー連携)、モバイルネットワーク)・プロジェクトマネジメントコンサルティング(PMO)・DXコンサルティング

2023年4月に熊本市と立地協定を締結し熊本branchを開設しました。熊本branchでは、クラウドサービスを軸としたソフトウェア開発、プロジェクトマネジメントコンサルティング(PMO)、DXコンサルティングの業務を推進します。私たちが創業当時より蓄積した技術やノウハウなどをみらいにつなげ、よりよい社会の実現を目指すことで、熊本の更なる発展に貢献していきます。

NEW FACE ③



「セーフティ」「スピード」「サービス」をモットーに
企業物流の合理化と品質向上に貢献 NEWFACE 3

株式会社オーナミ 九州事業部 長洲事業所

◆所在地/本社・大阪市西区江戸堀2-6-33 江戸堀フコク生命ビル2階、熊本事業所・長洲町名石浜4 ◆設立/1949年11月 ◆代表者/代表取締役 森本 勝一 ◆TEL/0968-78-3025 ◆従業員数/275名、うち長洲事業所22名(2024年1月現在) ◆事業内容/輸送、倉庫、梱包、内航海運のオペレーション、機工事業、輸出入貨物の通関、国際複合輸送、保険代理店業など

(株)オーナミ長洲事業所は、岸壁と野積場を有し、鋼材・鉄鋼製品・輸出入貨物等の船積・通関・保管・二次輸送を行うとともに、鋼構造物の製作から搬入までの一貫物流業務を行っています。さらに、開閉式テナント倉庫を有し、大型重量物等の取扱いを行っており、大型貨物の輸出梱包、船舶での大量輸送、通関を含めた一貫物流業務が可能。梱包部門では、各種大型機器の輸出梱包から小口梱包まで対応可能で、特別管理産業廃棄物などの収集運搬も行っています。

NEW FACE ⑦



2024年問題を解決する3,000拠点の
ネットワーク・ロジソリューションの提供 NEWFACE 7

ヤマト運輸株式会社 熊本主管支店

◆所在地/東京都中央区銀座2-16-10、熊本事業所・熊本県上益城郡益城町平田深迫2441-2 ◆設立/1984年2月 ◆代表者名/熊本主管支店長 椋本 啓太郎 ◆TEL/0120-01-9625 ◆従業員数/184,119名(うち熊本県内事業所1,850名)(2023年3月時点) ◆事業内容/宅急便、海外輸送など各種輸送・海外引越、保管、物流加工、システムソリューション、ロジスティクス、金融・決済・保険などに関わる事業

ヤマト運輸(株)熊本主管支店では、2024年問題をはじめとする多くの業種で人手不足が顕在化する一方、半導体関連企業が集積といった景気的好循環に期待が掛かっている環境で、2024年4月から就航する当社フレイター機(貨物専用機)やモーターシフトを駆使した幹線輸送、SDGsに対応したロジスティクス倉庫の運営を行い、お客様の事業成長をお手伝いする、価値のある最適なソリューション提案を行います。

NEW FACE ④



次世代の業務改革を実現する
「総合BPO事業者」として進化 NEWFACE 4

CENTRIC 株式会社 熊本支店

◆所在地/本社・東京都豊島区池袋2-50-9 第3共立ビル5F 熊本支店・熊本市中央区下通1-3-8 下通NSビル(COCOSA)6F ◆設立/2009年4月 ◆代表者/代表取締役 山田 亮 ◆TEL/096-285-9830 ◆従業員数/400名、うち熊本事業所180名 ◆事業内容/コンタクトセンター運営事業、コンタクトセンターコンサルティング事業、音声感情解析サービス開発研究および販売事業

2009年よりコンタクトセンターのコンサルティング事業として運用改善・支援事業から開始。2017年に熊本支店を開設し、様々なBPO事業を受託してきました。また、音声感情解析のテストセンターとして熊本支店の自社センターを活用しています。これまでの経験値を活かし、IT・AI・RPA等、先進技術を駆使することで業務に変革をもたらす「総合BPO事業者」として、全てのお客様の顧客満足を目指します。

NEW FACE ⑤



KCTは研究と開発で
世界のビジネスの革新をリードします NEWFACE 5

株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー 熊本事業所
AI・組み込みプロセッサ研究開発センター

◆所在地/本社・東京都千代田区大手町1-5-1、熊本事業所・熊本市西区春日1-14-1くまもと森都心プラザXOSSPOINT ◆設立/2008年7月 ◆代表者/代表取締役 川村 雅之 ◆TEL/096-276-6556 ◆従業員数/30名、うち熊本事業所4名 ◆事業内容/新規開発事業(新規ソリューション開発及びDX推進)、Fintech開発事業、組み込みコンピューティング・人工知能・量子コンピュータ開発推進事業、社会インフラ系のICTシステムの開発(金融機関、官公庁、通信業、教育(大学、研究機関)、病院等)

当社は、社会のDX化、金融業界のFintech対応、高効率・高速処理を可能とするAIチップ・組込チップ及び高度なIoT社会を実現する技術開発を行っています。また、生成AIの関するソリューション開発や、人工衛星などの画像、センサー情報を活用したスマート農業、減災などのソリューション開発、バイオインフォマティクス事業など、既存事業から新規事業の創出まで様々なことに取り組んでいます。

NEW FACE

2023年 新会員紹介

栄光デザイン&クリエイション株式会社 熊本工場
大石産業株式会社 緩衝機能事業本部 段ボール事業部 熊本営業所
株式会社オーナミ 九州事業部 長洲事業所
CENTRIC 株式会社 熊本支店
株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー 熊本事業所
AI・組み込みプロセッサ研究開発センター
株式会社プロフェッショナル・ネットワークス 熊本branch
ヤマト運輸株式会社 熊本主管支店

令和5年12月13日(水)～15日(金) SEMICON JAPAN 2023に出展しました。

東京ビッグサイト(東京都江東区)

令和5年12月13日(水)～15日(金)の3日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された「SEMICON JAPAN 2023」に出展しました。

この展示会は、半導体製造装置や材料等に関する日本最大級の展示会であり、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。

熊本での半導体関連企業の新たな進出や投資が相次ぐなど、半導体関連企業の更なる集積が見込まれており、期間中、多くの方にブースにご訪問いただきました。



令和5年11月6日(月) 熊本県自動車関連企業 立地セミナー2023

名鉄グランドホテル(愛知県名古屋市)



令和5年11月6日(月)、名古屋市において、熊本県と共催で、熊本県自動車関連企業立地セミナーを開催しました。このセミナーは、東海地域を中心に、広くは関東・関西の自動車関連企業で投資判断を行う方々を対象としたもので、130名を超える皆様にご参加いただきました。講演後には、講師を囲んで交流会も行われ、多くの企業の方々で情報交換されました。

- 「トヨタ自動車九州のカーボンニュートラルに向けた考え方と取組み」
トヨタ自動車九州(株) 取締役 技術本部長 田中 実 氏
- 「九州柳河精機47年の歩みと今後の取組み」
九州柳河精機(株) 代表取締役社長 田尻 雅浩 氏
- 「自動運転技術で加速するクルマのデジタル化」
株式会社サムズオフィス 代表取締役 葛巻 清吾 氏
- 「熊本が熱い!～半導体から広がる自動車産業への期待～」
熊本県知事 蒲島 郁夫

令和5年5月30日(火) 誘致企業等と県内高等学校・ 専門学校等との情報交換会

グランメッセ熊本 1階コンベンションホール(益城町)

令和5年5月30日(火)グランメッセ熊本にて、会員を含む県内企業の人材確保に向けて企業等の人事担当者と県内高等学校・専門学校等の就職担当者との情報交換会を開催しました。

最初に熊本県高校教育課から高校生の就職の現状について説明いただき、第一部で、企業ごとに設けられたブースを高等学校・専門学校等の就職担当者が巡回し、個別面談と名刺交換を行い、第二部は、企業の方が学校側を訪ねる時間を設け、自由な交流を行いました。

会員企業等68社の人事担当者と高等学校・専門学校等46校の就職担当者など、約200名の方々に参加していただき、活発な情報交換会となりました。



<冊子の表紙>



3

2

2024

1

12

11

10

9

8

7

6

5

2023

4

令和6年3月2日(土) 会員交流 ボウリング大会

スポーツ熊本
(熊本市中央区)

令和6年1月24日(水)～26日(金) オートモーティブワールドに 出展しました

東京ビッグサイト(東京都江東区)



令和6年1月24日(水)～26日(金)の3日間にわたり東京ビッグサイトで開催された「オートモーティブワールド」に出展しました。この展示会は、カーボンニュートラル、電子化・電動化、自動運転、コネクティッド・カー、軽量化など、クルマの先端をテーマに最新技術が一堂に会する展示会で、年々規模を拡大されています。当日は多くの方に熊本県ブースへお立ち寄りいただき、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。

令和5年6月22日(木) 通常総会

ホテル熊本テルサ(熊本市中央区)

令和5年6月22日(木)ホテル熊本テルサにおいて、令和5年度通常総会を開催し、入退会状況報告や令和4年度事業・収支決算報告及び令和5年度事業計画・予算案等の議案が承認されました。

また、新規入会企業として、郵船ロジスティクス(株)、(株)アソウ・アルファ、(株)電算、日本ビラー工業(株)、(株)オーナミ、(株)ナレッジクリエーションテクノロジ、ヤマト運輸(株)、(株)プロフェッショナル・ネットワークス、栄光デザイン&クリエーション(株)、CENTRIC(株)をご紹介しました。

講演後の交流会では、会員間の活発な交流を図ることができました。



令和6年2月29日(木) 熊本県半導体関連企業立地セミナー

グランメッセ熊本
2階コンベンションホール
(益城町)

令和6年2月29日(木)、グランメッセ熊本において、熊本県との共同主催で、半導体関連企業を対象に、新たな事業展開の拠点として熊本県の魅力をご紹介するため「熊本県半導体関連企業立地セミナー」を開催しました。

- 「イメージセンターが創る感動と未来～シリコンアイランド九州への期待～」
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 代表取締役社長 山口 宜洋 氏
- 「JASMの進捗と今後の展望」
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株) 取締役社長 堀田 祐一 氏
- 「半導体製造装置市場の方向性と当社の取組みについて」
東京エレクトロン九州(株) 代表取締役社長 林 伸一 氏
- 「地域企業連携による超微細・高アスペクトレーザシステムの開発事例紹介と今後の展望について」
オオクマ電子(株) 代表取締役社長 大隈 恵治 氏
- 「選ばれる熊本」 熊本県知事 蒲島 郁夫

令和5年8月10日(木) 熊本縣市町村企業誘致担当者研修会

熊本県庁 防災センター 201会議室

令和5年8月10日(木)、熊本県と共催で、「令和5年度熊本縣市町村企業誘致担当者研修会」を開催しました。

今回は、長年企業誘致に携わる職員からの講演を行い、企業誘致行政に携わる市町村職員が必要とする知識や企業の現状について理解を深め、県及び市町村相互の情報交換や親睦を図りました。

40市町村の多くの職員の皆様にご参加いただきました。

令和5年5月19日(金) 幹事会

ホテル熊本テルサ(熊本市中央区)



Epochal
vol.38発行



「熊本が好き！」 「熊本の力になりたい！」

そんな人たちの想いをつなぐコミュニティ

「ラブくまプロジェクト」が始まり

1年が経過しました。

「ラブくまプロジェクト」では、

熊本のイマを感じる情報発信や

交流イベントの開催に加え、

会員同士のコミュニケーションや

地域の課題解決を通して

「熊本の未来を創る」取り組みなどを

実施してまいります。



「ラブくまプロジェクト」
公式キャラクター
熊馬(ゆうま)くん
©2023 熊本県ラブくま

全国に熊本のファンを！ ラブくまプロジェクト

熊本県では、関係人口の拡大を目指し、令和5年1月に「ラブくまプロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、全国の熊本ファンに向けて公式LINEや公式ホームページで熊本の魅力を発信しており、会員数(公式LINE友だち登録数)は、204,036人(令和6年1月末)に達しました。熊本ファンのさらなる増加に向けて、公式キャラクターを活用した取り組みのほか、会員のスキルを活かした地域の課題解決事業などにも取り組んでいます。さらに、会員同士の交流を図るため、東京・大阪・福岡の3大都市において、大交流会を開催しました。熊本に興味のある方、是非QRコードから公式LINEへの友だち登録をお願いします！



公式LINEは
こちらから⇒

熊本 ラブくま

検索



【問い合わせ先】 熊本県企画振興部地域・文化振興局地域振興課 移住定住推進班 Tel.096(333)2155 <http://lovekumapj.jp/>

熊本県企業立地課

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6丁目18-1
Tel 096-383-1111 (代表)
Tel 096-333-2330 (直通)
Fax 096-385-5797
Mail kigyouricchika@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県東京事務所

【くまもとビジネス推進課】
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目3-16 (銀座熊本館3F)
Tel 03-3572-5022
Fax 03-3574-6714
Mail toukyoujimusy@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県大阪事務所

〒530-0001 大阪府北区梅田1丁目1-3-2100
(大阪駅前第3ビル21F)
Tel 06-6344-3883
Fax 06-6344-3807
Mail oosakajimu@pref.kumamoto.lg.jp

■企業立地ガイド KUMAMOTO
<http://www.kumamoto-investment.jp>



■熊本県企業誘致連絡協議会 [エポカル]
<http://e-kbda.jp>

